

令和元年度西野田工科高等学校 第3回学校運営協議会（全日制部会）

日時：令和2年2月6日（木） 午後15時00分～16時30分

場所：西野田工科高等学校 大会議室

出席委員、事務局：別紙参照

議事録

1. 校長あいさつ

記録簿紛失について

- 再発防止に向けて教員の意識向上を図るとともに、研修を実施するなど改善策に努めていく。

インフルエンザについて

- 1年生3クラスを学校休業とした。該当の3クラスは今週の7時間目を補習授業と当てている。

工科高校改編について

- 各校の専門分野の特色の強化について、本校では、建築都市工学系と工業デザイン系を特色化の目玉において、機械系、電気系はそれに絡めていく。
- これからの動きとして、校内改編PTについては特色の一本化・特色のある学習内容の具体化、PBLについては研修をはじめカリキュラムを作成する、カリキュラム委員会では新学習指導要領に対応するための教育課程を作成する。

2. 協議

(1) 平成31年度（令和元年度）学校経営計画について

- 機械系・電気系が協働した系横断型のPBLを取り入れた課題研究モデル（「ロボラッチの製作とプログラミング」）を試行的に実施の取り組み満足度は70%。
- 学習に向かう姿勢ができている生徒は83%、残りの数%の生徒についてしっかり対応していかなければならない。
- 企業連携について、目標実施件数25件に対して100件の実施があった。
- 遅刻件数1000件以下を目標とし、現時点で738件と51%減少した。
- 転・退学者については29%減少した。
- 身の回りの整理・整頓していくことから、清掃活動を21回実施した。
- 授業での図書室の利用数を50回と目標設定したが、36回と目標に達しなかった。
- 中学校訪問や学校説明会等に参加した生徒数が78人であった。

(2) 令和2年度学校経営計画について

協議からのご意見等を踏まえて次年度の計画を進めていく。

(3) 令和元年度学校教育自己診断について

- 1年生の「授業はわかりやすく行われている」では昨年とあまり変わらず7割程度の生徒が肯定的な意見を出している。2・3年になるにつれ若干数値が下がっているのが、専門的な授業が入り難くなっているからではないかと考えている。
- 「担任以外にも気軽に相談できる先生がいる」では学年が上がるにつれ数値が上がっている。
- 「いじめへの対応」「学校行事」については、共通して教員と生徒の意識・認識が若干ずれているので課題となる。
- 全体としてまだまだ課題がみえる数値もあるので来年度も教育目標していきたい。

(4) 本校の状況について

① 各学年より

第1学年

- 進級に向け、最後まで努力する生徒と無気力になっている生徒がいるが、専門分野の学習に向かう姿勢や資格検定等への意識を高めるよう指導していきたい。
- 次年度入学する新入生のお手本となるような行動・身だしなみ等を身に付けることを目標とする。

第2学年

- 新年度が始まった当初はクラス替えで馴染めない生徒も見受けられたが、行事を重ねるごとにクラスが団結してきた。ただ、全体的におとなしいので表現力を上げるような指導を行っていきたい。
- 1月30日には、企業の方を招いた進路ガイダンスを実施した。

第3学年

- 大きく成長している生徒と、気が緩んでいる生徒が見受けられる。卒業に向けて系・クラスでいい雰囲気をつくっていきたい。
- 3年生全員が胸を張って卒業できるように努めていきたい。

② 分掌等より

教務部

- 令和4年度から新学習指導要領が実施されるので、スムーズに進むよう関連部署と協議しながら作成しているところである。
- 定期考査中のトイレ退出に関する対応について、本校は現在のところ「再入室時に別の用紙を渡し、その後の解答については、参考点とする。」に該当する。教務研究会では、トイレ退出後の解答について評価していいのはよいのではないかという意見が出ているので、協議しながら今後対応していきたい。

生活指導部

- 今年度の懲戒件数が1月22日までで31件、62名ということで、昨年度と同じくらいとなった。さらに今年度は、人間関係のトラブルが多かった。また、SNSでのトラブルも増えてきている。
- 遅刻件数1000件以下を目標とし、現時点で738件と1000件を切れそうである。

進路指導部

- 平成 28 年度卒業生に対して行った離職調査の結果は、51%であった。過去 4 年分の平均は 41%である。理由をして、「マッチング」「本人の力不足」「自己都合」などが大半である。
- 今年度 3 年生は 7 月に企業の方から直接話を聞けるというイベントを行った。2 年生は 1 月に同じような機会を設けた。少しでも早く就職のイメージを持ってもらって、早く動けるように指導を行っている。

保健部

- 例年、AED 講習会を職員のみで行っていたが、今年度は運動部を中心に生徒に呼びかけて行った。良かったと思うので、次年度も続けていきたい。
- 保健室を生徒が使いやすく、また、教員と連携の取れやすい場にするため大きくレイアウトの変更をした。その結果か、昨年度の来室件数がかなり増えた。

総務部

- 中学校教員向け学校説明会、体験入学、学校説明会では、本校の生徒が講師役や施設の説明を行った。また、中学校訪問では、50 名の本校の生徒が同伴した。
- 芸術鑑賞では「チャージ」を観劇した。
- 次年度から実習服がリニューアルをする。

特別活動指導部

- 文化祭の来場者が 891 名であった。半数が家族の方で、PTA の方の参加も多かった。また、沖縄県首里城復旧・復興支援募金活動を行った結果、27,850 円が集まったので事務局に送金した。
- 生徒会が、大開小学校と朝の連携挨拶運動を行った。2 月にも行う予定である。
- 部活動の入部率では、全体で 55.6%あった。

キャリア教育検討委員会

- 1 月 23 日に進路体験発表を実施した。

③ 系より

機械系

- 課題研究で、エコデンレースに参加し、見事に完走した。
- 東大阪市では小学校と中学校が一貫校であることから、東大阪市の小学校の生徒を招き、ものづくり体験を行った。保護者のアンケートからは、「工科高校のイメージが変わった」という意見をいただいた。

電気系

- 電気工事士技能競技大会に参加した。結果は、技能賞をいただき、生徒も喜んでた。
- 生徒が人に教えるということがたくさん学ぶことがあるので、生徒がの活動に対して取り組んでいきたい。

建築都市工学系

- 企業の協力によりドローンやレーザー測量などの最新技術の体験実習を実施した。次年度も拡大し継続していきたい。

- 大阪城のコンクリートカーレース競技大会や高校生ものづくりコンテスト（全国大会）などに参加するだけでなく、生徒がスタッフとしても活躍した。今後も生徒が活躍できる場をもっと増やしていきたい。

工業デザイン系

- 西工ゆるキャラ制作では、入学希望者の確保・女子中学生の確保ということを仮説として進めてきた。絵を描くだけでなく、福島区のゆるキャラの「フッピー」をお借りし着ぐるみの構造を調べたり、着ぐるみ制作をしている企業を見学するなど、着ぐるみ制作にも展開した。

④ PTA 係より

- 11月の文化祭の模擬店として焼きそば、バザーを行った。売上金は生徒のために還元していきたい。
- 1月の工芸講習会では、工業デザイン系の先生方を講師にオリジナルハンコの作成を行った。
- 1月の学校説明会では、本校の保護者が学校についてどう思っているかというアンケートを中学生の保護者に発表した。

⑤ 首席より

- 今年度、4系の系長、首席、教養科長、総務部長で学校の広報について考えていく取り組みを行った。外部に対するアピール、校内での活動をどうしていくかについて考えた。このような活動を取り組んだ結果、4系のお互いの活動が認識できるようになった。
- 資格取得について、合格者数は昨年度を比較すると若干減っているが、生徒数を考えると昨年度とあまり変わらない。技能士の幅を広げたり、危険物取り扱いに関しては、系をまたいで講習を行ったり、計算技術検定でも全体を通してみんなでやるなど新しいことに取り組んでいる。

委員からの意見など

- 考查中のトイレ退出について、生徒の信頼・信用をどう考えているのか。
- 西工ゆるキャラについて、方向性があると思うので慎重に続けてほしい。
- 資格・検定の金額が高いのはなぜか？
 ≪首席≫資格と検定で大きく違ってくる。数日の講習等があれば金額も高くなることもある。
- 生徒が小学生に教えることは非常に良いので、今後もそのような機会を与えてほしい。
- AED講習を生徒に行いことは、ぜひ、続けてほしい。
- 地域イベントにはどんどん参加して行ってほしい。
- 離職率が51%とあったが、離職後はどうなっているのか？
 ≪進路指導部長≫ステップアップという意味の転職が多い。

3. トピックス

- 工業デザイン系の課題研究で、薬物乱用防止広報PR映像に応募したところ昨年度に引き続き、今年度も文部科学大臣賞をいただいた。
- 高校生活新聞に本校の3年生の記事が載っている。

4. 意見交換会

なし

5. その他

なし

令和元年度 学校運営協議会出席者一覧

別紙

(1) 委員

出席	選任区分	名 前
○	学校の運営に関する活動を行う	尾松 正章
欠	学識経験	田中 節
○	学識経験	田中 克佳
欠	その他の関係者	峯本 耕治
○	保護者	堀 智恵
○	地域の住民	矢野 裕史

(2) 事務局

番	役 職	名 前
○	校 長	中井 宏典
○	事務部長	小笠原 達治
○	教 頭	梶田 英志
○	首 席	長澤 大助
○	首 席	松本 良枝
○	教養科長	向垣内 宏樹
○	機械系長	福西 靖久
○	電気系長	高地 正訓
○	建築都市工学系長	近藤 大地
○	工業デザイン系長	木村 智公
○	生活指導部長	飛山 雄一
○	進路指導部長	松下 ファビアン順
○	教務部長	上妻 定之
○	総務部長	浅尾 義和
欠	保健部長	梅本 昌敬
○	特別活動指導部長	樋口 彰彦
○	第1学年主任	岩永 満
○	第2学年主任	井上 慎哉
○	第3学年主任	寺岡 俊介
○	キャリア教育検討委員長	難波 誠吾
○	PTA 係	堀江 聖志
○	書 記	清水 亮太郎
○	書 記	岡田 文乃